

2. 指標設定

成果指標	指標名	農業委員会総会の開催数	目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値	12回			総合計画前期基本計画の1-1-(1)、1-1-(2)、1-1-(5)で目標としているため			
活動指標	指標	a 農業者団体との意見交換会	b	農業委員だよりの発行	c	遊休農地の指導・解消	d	
	数値	目標 1回	目標	2回	目標	3.5ha	目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H27	H28	H29
農業委員会総会の開催数	回	—	12 回	12 回
		—	100.0 %	100.0 %

活動指標名	単位	H27	H28	H29
a 農業者団体との意見交換会	回	—	1 回	1 回
		—	100.0 %	100.0 %
b 農業委員だよりの発行	回	—	2 回	2 回
		—	100.0 %	100.0 %
c 遊休農地の指導・解消	ha	—	9.4 ha	14.2 ha
		—	313.3 %	405.7 %
d				

4. 課題と対応

課題
認定農業者の高齢化に伴い、今以上の集積による規模拡大は厳しい状況にあるが、新規就農者の育成、集落営農、農業法人、その他企業の参入促進により利用集積の推進を図る必要がある。
対応（改善点等）
農業委員・農地利用最適化推進委員が人・農地プランの会議に積極的に参画し、また農地の出し手、受け手の情報把握に努め、中間管理事業等へつなげられるよう更なる連携を図っていききたいと考えます。

5. 事業費・・・H27～H29（決算額）、H30（予算現額）

決算額（千円）		H27	H28	H29	H30
		15,916	15,799	19,140	20,886
うち経常経費		15,769	15,559	19,140	20,886
財源内訳	国県費	3,051	2,465	4,002	4,094
	地方債				
	その他	74	382	161	395
	一般財源	12,791	12,952	14,977	16,397
うち経常		12,791	12,952	14,977	16,397

6. H31年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
事業実施に必要最低限の経費であり、現行での推移が見込まれるため。

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 法令業務のため、事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 法律等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3 一定の成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
—	—